

「パリの中の日本」



佐々木氏



— 12 —

パリのど真ん中、ルーヴル美術館とコンコルド広場の間に、二十ヘクタール以上の面積を有するテュイルリー公園がある。

豊かな緑と静寂がパリ市民の憩いとなっているのはもちろんだが、代表作「三美神」などマイヨールのおよそ二十点の作品を含め、十七世紀から現代に至る数多くの彫刻が設置される世界有数の彫刻公園としても知られている。

見上げればマロニエの大木に一齐に花が咲き誇る華やいだ春、緑に覆われた樹冠から木漏れ日が差し込む夏、あるいは風に枯れ葉が舞い落ちる秋、マイヨールの彫刻は四季の移り変わりに応じてさまざまな表情を見せる。

そうした折々の変化も野外に設置された彫刻ならではの楽しみのひとつではあるのだが、やはり私は、すべての葉が落ちて彫刻が照度の低い光に包まれ、形をくつきりと、しかし柔らかかく浮き上がらせる晩秋から冬にかけてが一番好きである。

木枯らしの吹く季節になるといつも、枯れ葉を踏みしめるカサカサという音を心地よく聞きつつ、「三美神」の肌にとそっと触れた若い日の記憶がよみがえってくるのである。

さて、パリの中の日本。パリには幾つか日本ゆかりの地名や建物がある。ひとつは13区のセーヌ川沿いにある

パレ・ド・トーキョー。建物は大きく二つの機能に分かれる。東ウイングはマティスやデュフィの大作が常設展示されるパリ市立近代美術館。そして西ウイングが政府管理の現代美術館（正式名称はパレ・ド・トーキョー／現代創造サイト）である。

最先端を展示、発信

建物名の由来は、一九一八年にさかのぼる。この年、日本が第一次大戦の同盟国だったことに因み、前の通りが「東京通り（アヴェニュー・ド・トーキョー）」と名づけられた。

第二次大戦では両国が敵国同士になったため一九四五年に「ニューヨーク通り」に改称されたのだが、その後、国交が復活したので建物に「トーキョー」の名を継承したのである。

パレ・ド・トーキョー／現代創造サイトは、いわき市立美術館の約五倍の広さがあり、コレクションを持たず、絵画や彫刻のみならず、写真、映像など、ありとあらゆるメ

日本医療機能評価機構 認定病院



社団医療法人 養生会
理事長 中山 大

【臨床研修指定病院】

かしま病院

かしま病院介護医療院

内科、呼吸器内科、消化器内科、麻酔科、腎臓内科（人工透析）、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、婦人科、皮膚科、循環器内科、糖尿病内科、肝臓内科、泌尿器科、神経内科、心療内科、放射線科

〒971-8143 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1 ☎0246(58)8010(代)

かしま訪問看護ステーション ☎(58)7026
 かしまヘルパーステーション ☎(76)1361
 在宅介護支援事業所 ☎(76)0427



パリ国際大学都市日本館（薩摩館）



●藤田嗣治
「欧人日本渡来の図」1929年頃。
300×600cm。キャンヴァスに油彩・
金箔

西洋文明が日本にもたらされたことを
主題としている。背景は長崎の遠景。肖
像画で名を馳せた藤田が群像に取り組
み始めた時期を反映する重要な作品

ディアを駆使した最先端の現
代美術を展示発信している。
杉本博司や泉太郎など日本人
美術家の個展も開催されてい
る。
パリは古典から近代まで世
界最大の美術資産を有する
が、そうした遺産のみに頼る
ことなく、次の百年も世界の
美術の中心地であるために、
常に同時代の美術の発信地で

運営費は日本負担

もうひとつは、14区国際大
学都市内にある「パリ国際大

あり続けようとするフランス
の一貫した姿勢がうかがえ
る。規模の大小ではなく、そ
うした文化政策の大局観から
私たちが学ぶことは少なく
ない。

学都市日本館」、別名「薩摩館」
である。

主に学生寮として使われ、
留学生のみならず研究者や芸
術家なども入居するこの建物

は、所有がフランス政府で運
営費は日本が負担している。
日本人の入居率が七割を超え
ないようになってきているのは、
他国の人々との交流を促す狙
いがあるという。

日本館は一九二九年に建設
された。一九二〇年代、パリ
はピカソやキスリング、シャ
ガール、モディリアーニ、藤
田嗣治などいわゆるエコー
ル・ド・パリの作家たちや

シユールレアリストたちが活
躍し、世界中から多くの芸術
家や愛好家、研究者などが押

し寄せる「狂乱の時代」の絶
頂期にあった。そうしたエト
ランジェ（異邦人）たちの一
人が、この建物を建てた薩摩
治郎八である。

その破天荒な豪遊ぶりと優
雅な立ち居振る舞いが評判と
なり、パリでバロン薩摩と呼
ばれた治郎八は、木綿問屋と
して巨万の富を築いた実家か
ら送られる豊かな資金が枯渇
するまで、惜しみなく文化芸
術の支援を続けた。彼がパリ
で使った金額は、実に六百萬
円に上るといふ。

日本館＝薩摩館には、今も
彼が支援した藤田の巨大な作
品二点「馬の図」と「欧人渡
来の図」が展示され、観覧も
可能である。

筆者プロフィール

佐々木 吉晴

ささき・よしはる

1956（昭和31）年宮城県生まれ。
東北大学文学部哲学科美学西洋美術史
専攻卒業。いわき市在住。1980年、
いわき市立美術館建設準備室に勤務、
学芸課長、副館長を経て2012年から
2021年まで館長。現在、宇都宮美術
館長、斎藤清美術館長、全国美術館会
議理事・災害対策委員長



株式会社 佐藤部品商会

流通センター営業所：いわき市常磐西郷町銭田107
TEL0246-88-6775 / FAX0246-72-1387

- 総務部：いわき市常磐西郷町銭田107 TEL88-6775
- 小名浜営業所：いわき市小名浜西町5-4 TEL54-6262
- 平営業所：いわき市内郷御殿町4丁目59 TEL27-6200
- 四倉営業所：いわき市平泉崎字砂田56 TEL34-5413
- 須賀川営業所：須賀川市森宿字辰根沢158-3 TEL(0248)94-4601
- ときわ出張所：いわき市常磐水野谷町諏訪ヶ崎89 TEL43-2275
- 本宮出張所：本宮市荒井字青田原1-522 TEL(0243)34-6770
- リビルト/タイヤ事業部：いわき市常磐西郷町銭田107 TEL88-6771